

令和2年3月19日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

民生常任委員会委員長 野原 恵子

### 所管事務調査報告書

本委員会において、次のとおり所管事務調査を終了したので、会議規則第77条の規定により報告する。

#### 記

#### 1 こどもの福祉に関する事項

- (1) 調査期日 令和2年1月24日（1日間）
- (2) 出席委員 野原恵子、岡本眞利子、石川康弘、内山美穂子、  
酒井はやみ、千葉幹雄（以上6名）
- (3) 調査内容

##### ① 第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画（素案）について

子ども・子育て新制度を推進するための令和2年度から6年度までの5年間の計画として策定中の「第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画（素案）」について説明を受けた。

委員からは、札幌地域の教育・保育事業の確保量の不足の解消方法や、量の見込みの推計方法、幼保無償化による保育希望者の増加の有無、幼保認定型こども園への移行スケジュールと所管部署などについて質疑が行われた。



## 2 社会福祉及び障害者福祉に関する事項

- (1) 調査期日 令和2年1月24日（1日間）
- (2) 出席委員 野原恵子、岡本眞利子、石川康弘、内山美穂子、  
酒井はやみ、千葉幹雄（以上6名）
- (3) 調査内容

### ① 第3期幕別町地域福祉計画（素案）について

現在策定中の令和2年度から6年度までを計画期間とする「第3期幕別町地域福祉計画（素案）」について、前計画からの変更点、や新規追加項目などの説明を受けた。

2月19日までのパブリックコメントの意見等を踏まえ、3月開催の地域福祉計画策定委員会の最終調整を経て、町長に答申を行う予定である。

## 3 高齢者福祉及び介護保険に関する事項

- (1) 調査期日 令和2年1月24日（1日間）
- (2) 出席委員 野原恵子、岡本眞利子、石川康弘、内山美穂子、  
酒井はやみ、千葉幹雄（以上6名）
- (3) 調査内容

### ① 介護保険を補完する施策等の見直しについて

令和2年4月に見直しを予定している「食の自立支援サービス」と10月に見直しを予定している「布団洗濯乾燥サービス」、「介護用品等給付事業」、「老人日常生活用具給付等事業」について説明を受けた。

委員からは、布団洗濯乾燥サービスの回数、枚数ともに減少していることはサービスの低下につながるのでは、と質疑が行われた。

## 4 各種団体との意見交換会

- (1) 実施期日 令和2年1月24日（1日間）
- (2) 出席委員 野原恵子、岡本眞利子、石川康弘、内山美穂子、  
酒井はやみ、千葉幹雄（以上6名）

(3) 実施団体名 社会福祉法人 ひまわり

理事長 宮澤恵子、常務理事 澤田治夫、  
総合施設長 島順子（以上3名）

(4) テーマ 社会福祉法人 ひまわりの障がい福祉事業について

(5) 主な意見

- ・少ない職員数で少数精鋭で頑張っている。いろんな所と連携していくことが大事になる。
- ・人手は足りない。人を増やしたからといっても、一人ひとりの障がいの状況は違うので、そこを理解できる人でなければ、人がいてもその方と合うことはない。個々に合った支援をしていくため、職員のスキルも上げなければならない。そういう学習ができる場所、触れることができる場所があったらよいという思いを持ちながら、自立支援協議会にも参加させてもらっている。
- ・「それいゆ」は、とても狭い場所なので、限られた人数しかみることができない。その問題は大きいと思っている。
- ・町内に就労事業所はたくさんできている。利用者確保することは大事なことになってくる。自分たちのやっている支援について認めてもらえれば、他から紹介していただいて来てくださる利用者の方もいる。
- ・平成24年、民設民営で町が主体となって計画したときは、総額で1億6千6百万円ほどだった。そのうち6百万は法人の負担、残りは国・道・町の補助ということだった。3月までを目途に「それいゆ」、グループホームと分散している施設を入れるかどうか、就労支援も人数が増えているなど、およその面積を精査して一定の数字を出した上で、町との協議をしたい。
- ・魅力ある活動をしていないと来てもらえない。以前は行政が行き先を示していたが、今は利用者が選ぶ、情報公開など整備していく必要がある。
- ・就労促進かふえでは、役場の方から農福連携について説明があり、熱い思いが伝わってきた。福祉担当の方でなくても、こんなに考え

くださる方がいるなら、もっとちゃんとつながって、いろんなことができると思った。

- 町内に福祉事業所はできてきている。社会福祉法人である私たちが中心となって、各事業所をつなげる核になっていければと思っている。

